

弁柄

ご説明

古くから、防腐・防虫効果のある顔料として家の格子戸や壁さらに陶磁器、漆器などに用いられた弁柄。

「ベンガラ」の名前は、かつて酸化鉄を含む良質の赤褐色の土がインドのベンガル地方で産出されたことに由来するという。色鮮やかな朱色とは一味違って、赤みに少し茶色がかったその色彩は、明るさの中にしっとりとした落ち着きを醸し出す。



効果

弁柄は、紫外線を防ぐ効果があり、木材の保護に役立ちます。さらに上柿渋と混合し塗る事によって防水、防虫、防腐、抗菌作用があり耐久性が得られます。その他にさらに丈夫にするために亜麻仁油や桐油を塗ったりして仕上げます。

色見本(※1)



猩猩



東洋赤

塗装方法(上柿渋を用いて木部へ塗装例)※2

【上柿渋と弁柄の使用目安の例】

※ベタ塗りの場合(刷毛塗り)

上柿渋に対して弁柄15%~20%の割合で充分混合して塗って下さい。

※木目を出す場合(刷毛塗り)

上柿渋に対して弁柄5%~10%の割合で充分混合して塗って下さい。

※艶を出し更に強くしたい場合

弁柄着色乾燥後、さらに上柿渋又は天然油を重ね塗りして下さい。

※古色を出したい場合

顔力黒に弁柄を混ぜる。

(例) 顔力黒3~4に対して弁柄1の割合にし、上柿渋で混合して塗って下さい。

注意事項

- 塗布後、乾燥しても表面の弁柄が他に移ったりする場合があります(手で触ると弁柄が着いてしまう)、その場合はさらに上塗りをして色止めして下さい。
- 衣類などに弁柄が付着した場合、非常に取れにくいので汚れてもいい作業服で取り扱ってください。
- 必ず製品の取扱説明書をご覧の上ご使用ください。

※1※2 印刷ですので実際の色とは異なります。

創造・街を彩る・未来へ歩む



有限会社シマモト

〒834-0031

福岡県八女市大字本町2番地の265

TEL・0943-22-5135 FAX・0943-22-5136